



2015年2月12日

各 位

会社名	新華ホールディングス・リミテッド (URL: www.xinhuaholdings.com)
代表者名	最高経営責任者 (CEO) レン・イー・ハン (東証マザーズ コード番号: 9399)
連絡先	経営企画室マネージャー 高山 雄太 (電話: 03-4570-0741)

持分法による投資損失の減少、為替差損の増加及び 新株予約権の消滅に伴う特別利益の増加に関するお知らせ

新華ホールディングス・リミテッド（以下、「当社」といいます。）は、2014年12月期（以下「当」と記載します）第4四半期連結累計期間における持分法による投資損失の減少、為替差損の増加及び新株予約権の消滅に伴う特別利益の増加について、以下の通りお知らせいたします。

持分法による投資損失

当第3四半期連結累計期間における持分法による投資損失は、306千米ドル（37百万円）でしたが、当第4四半期連結累計期間では、149千米ドル（18百万円）に減少しました。当社が持分法を適用している会社は、北京華声・ファイナンシャル・インフォ・アンド・テック・カンパニー・リミテッド及び北京華声・ファイナンシャル・インベストメント・カンパニー・リミテッドです。当第4四半期会計期間に北京華声・ファイナンシャル・インベストメント・カンパニー・リミテッドの損失による相殺が一部ありますが、北京華声・ファイナンシャル・インフォ・アンド・テック・カンパニー・リミテッドが営業利益を計上しているため、当第4四半期連結累計期における持分法による投資損失が減少しています。

為替差損

当第3四半期連結累計期間における為替差損は、150千米ドル（18百万円）でしたが、当第4四半期連結累計期間では、476千米ドル（57百万円）に増加しました。これは主に当第4四半期会計期間における日本円の米ドルに対する相場の上昇によるものです。

新株予約権の消滅に伴う特別利益

当第3四半期連結累計期間における新株予約権の消滅に伴う特別利益は、522千米ドル（63百万円）でしたが、当第4四半期連結累計期間では、942千米ドル（114百万円）に増加しました。これは当第4四半期会計期間に過去に退社したその他の役員及び社員の新株予約権が消滅したことによるものです。

業績予想への影響について



本持分法による投資損失の減少、為替差損の増加及び新株予約権の消滅に伴う特別利益の増加のそれぞれの概算額が、2014年12月期の業績予想に与える影響は、既に2015年1月22日付のプレス・リリース「業績予想の修正に関するお知らせ」にて開示しているとおりです。詳細は、同プレス・リリースをご参照ください。

なお、当該概算額と今回確定した額に差がありますが重要性が低いため、2014年12月期の業績予想を更に変更することはありません。

(注) 適用為替レート：1米ドル=120.55円（2014年12月31日現在の東京外国為替市場における外国為替相場（仲値））

以上



新華ホールディングス・リミテッドについて

当社、新華ホールディングス・リミテッドは複合的な事業を展開するグループ企業であり、主に中国及び日本を含むその他のアジアの地域において、金融サービス及びパブリックリレーションの事業分野において商品及びサービス並びにスマートフォン、テレコム・ソフトウェア・プラットフォーム、グローバル・メッセージング・ゲートウェイ及びモバイル広告プラットフォームの開発及びオペレーションを提供しています。東京証券取引所のマザーズ市場に上場（証券コード：9399）しており、香港に事業本部を構え、中国及び日本に拠点を配し、グローバルなネットワークを有しています。

詳細は、ウェブサイト：<http://www.xinhuaholdings.com/jp/home/index.htm> をご参照下さい。

本文書は一般公衆に向けられたプレスリリースであり、当社株式の勧誘を構成するものではなく、いかなる投資家も本書に依拠して投資判断を行うことはできません。当社株式への投資を検討する投資家は、有価証券報告書などの提出書類を熟読し、そこに含まれるリスク情報その他の情報を熟慮した上でかかる判断を行う必要があります。本書は多くのリスク及び不確定要素を含むいくつかの将来に関する記述を含んでいます。多くの事項が当社の実際の結果、業績または当社の属する産業に影響を与える結果、将来に関する記述で明示または黙示に示される当社の業績と実際の将来の数値とは大きく異なることがあります。